

訪問診療の利点

ケアマネージャーとして在宅で過ごす高齢者の医療について思うことを書いてみます。

身体が不自由になった高齢者の方を「頑張って」病院やクリニックにお連れするご家族がいらっしゃいます。

その努力には本当に頭が下がりますが、それがご本人とご家族にとってベストな選択でしょうか？それが必ずしもベストな選択だとは思えないのです。その理由を列挙します。

1. 身体が不自由な方を移動させるのには介護が必要です。着替えをさせて、車椅子に乗って、更に車への移乗も必要になることもあります。

こんな事もありました。介護の専門家であるはずのデイスタッフが車に毎日乗っていた女性がいました。ある日体調を崩し入院。入院のときには「入院時一式」と胸部のレントゲンも撮ります。

その写真に映った肋骨、医師は診るなり「これ、肋骨折れてますわー」と声を上げました。体重の軽い高齢女性ですから「抱えられるよ」と繰り返した結果です。

それほど移乗は大変なのです。

じゃあ、診察を受けずにお薬だけ出してもらう？

それは基本的に患者の身体を診ないで薬を出すのですから、危険が伴いますし、法的にも診療なしに薬を出し続けることはできません。

1. 病院は大学から派遣された医師が多く、期限が来たらいなくなるが多々あります。すると医師の「当たり外れ」があるだけで無く、医師が変わるたびに治療の視点が変わることもあり得ます。

このような事が起こりうる高齢者の通院はリスクがある事を理解する必要があると思います。

どうすれば

訪問診療は多くのクリニックで行われています。

それはその先生がご健在である限り、継続的にご自宅で身体の変化を診ていただけますし、在宅でできない検査や治療、入院だけを病院に依頼するだけでもご家族や高齢者の負担は減らすことができるのではありませんか？

雨の日も、風の日も医師が自宅で診察をしていただけるって頼もしくありませんか？

いまは歯科も訪問で治療ができる時代です。

わたしの母も、その仕組みがあったから6年間の闘病を自宅で続け、家で終えることができました。

「通院大変だなー」と考えていらっしゃる方、ぜひ検討してみてください。

有田 CM

本の紹介



- 著者：宮下今日子 ●体裁：A5判・150 頁程度
 - 定価：2750 円（税込）電子版 1250 円（税込、Kindle）
- 発行 ブリコラージュ 発売 特定非営利活動法人
全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）

きょうと福祉倶楽部も裁判に証拠を提供し、協力した裁判の記録です。

2019 年、3 人の登録型ヘルパーの仲間が国を相手に立ち上がりました。ヘルパーの劣悪な待遇は国が定めた介護報酬がホームヘルパーの移動や待機時間の介護報酬を国が保障しない。その被害者であるヘルパーに対してその損害を認めよ、そしてその被害を補償せよというものです。

3 人の原告の女性はいずれも長く在宅介護の現場で働いてきました。

3 人は介護保険の創設以降はどんどんと職場環境が悪くなっていることを見つめてきました。その変化は介護保険の在宅介護の現場を荒廃させました。

いまや現場はどんどんとスタッフが減り続け、介護職も高齢化が進んでいます。この変化は我が国では年老いたときに支える仕組みが無くなるということを意味します。

原告の 3 人の裁判はヘルパー自身を守ること、誇りある対人援助の現場を取り戻すこと、そして何よりも大好きな高齢者や障害を持つ人たちを守る闘いだったので。著者の宮下さんは地裁から最高裁まで裁判の場に直接足を運び、その法廷での厚労省官僚の「言い訳」や、現場の悲痛な声を受け止められない裁判官の醜い姿もきちんとわたしたちに伝えてくれています。

残念ながら裁判は敗訴。だけど彼女らの熱い思いは、必ず本当の介護を取り戻す未来に繋がるはずで。

有限会社 おとくに福祉研究所

きょうと福祉倶楽部

〒617-0824

長岡京市天神 4 丁目 7-12 ハイツ東台 101 号

TEL 075-958-2560

FAX 075-957-2808

E-mail info@fukushi-club.com

きょうと福祉倶楽部ホームページ

